



みねのぶ

1月号



迎春

■発行日/令和5年1月1日/No.1449号
■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

令和5年の新春にあたり



代表理事組合長
伊藤俊春

新年、明けましておめでとうございます。

令和5年の輝かしい年明けにあたり、組合員皆様にお祝い申し上げるとともに、平素より当農協の事業に対しまして、ご理解を頂戴し、ご利用ご協力いただいていることにつきましても、あらためて、お礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナの感染が拡大して3年目を迎え、少し落ち着くことを期待しましたが、11月から第8波の様相となり、厳しい状況が続いています。人流制限などが緩和され、経済活動が少しずつ戻り始めている中、ワクチン接種が進み、重症化リスクは減つてきていますが、ある程度元の状態に戻るには、まだ時間がかかるのではないかと感じています。

今後も感染対策を取りつつ、事業の運営に努めてまいります。

昨年2月、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、今なお悲惨な状況が続いております。この影響

により、穀物や燃料等の物流が滞り、世界的な経済混乱となつています。また、円安によつて物価が上昇し、営農においても、光熱費や営農資材を始めとした経費が増加し、今年度の営農計画も厳しいものとなつております。

水田活用交付金の問題については、様々な地域の課題を整理して対応を求めてきましたが、過去からの方々については、なかなか理解が得られず、現状においては厳しいものですが、今後も対応を続けてまいります。国の政策としては、食糧安全保障の観点から、国産の小麦、大豆、飼料作物等の増産に対する支援と合わせて、環境負荷軽減を目標とした内容が強くなっています。当農協としてこの内容を踏まえ、基本的には水田を中心とした輪作体系を取りつづけ、経営の安定化を進めていきた

いと考えています。組合員皆様方も、それぞれ将来を見据えた経営スタイルを検討していただき、地域の営農の在り方についても考えていただきたいと思います。

昨年の作況については、南空知

が105という結果でしたが、天候の影響が大きく、米、大豆については、おおむね収量、品質ともに良い結果でしたが、小麦については今年も細麦となり、品質、収量ともに厳しい結果となりました。

そのような中でも収量を上げている生産者もいることを受け止め、営農支援につなげていきたいと思

います。

昨年4月の総会で承認された、第11次地域農業振興計画に沿つて、各事業を進めております。特に組合員皆様方の安定的な生産者所得の確保に向けた営農支援と、販売

環境の強化を図るため、今以上に発展する素晴らしい年になることをご祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

今年は卯年で成長を意味する年です。組合員皆様にとつて、更に発展する素晴らしい年になることをご祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



令和5年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事長 小野寺 俊幸

天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができます。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられますことと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によつて少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によつては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、その対応を図つて参ります。

コロナ禍、国際紛争によつて、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料紛争合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安

定的にどう確保するか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となつています。

J A グループ 北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回 JA 北海道大会

の実践2年度目となります。
決議された将来ビジョンである、

「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向

け、様々な課題を解決する必要が
あります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このよう
な状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必
要があります。

また、消費者に対しては、JA グループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自己で生産するという「国産国消」に
たいする理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望
られます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参ります。
「向上」を象徴するものとして親
しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意
味もあり、新しいことに挑戦する
のに最適な年と言われています。

この謂われにあやかり、本年が豊
穫の年となること、新型コロナウ
イルスの1日も早い終息と皆様の
ご健勝をご祈念申し上げ、年頭の
ご挨拶といたします。



代表理事組合長
専務理事
理事

理事統括室長
監事

監事
員外監事

安石佐小八橋河北高伊
沢川藤田田野野藤俊
外職員一同孝樹彦行忠宏秀春

青年部が青年大会開催

11月25日、峰延農協青年部は当JA会議室で令和4年度の青年大会を開催しました。

青年部員が自ら興味のある営農に係る事項について年間を通して研究を行う「営農試験研究」の実績を発表したほか、青年部組織で実施している研修の参加報告や優良生産者の表彰を行いました。

本年度は「ドローンとスプレーヤによる大豆防除の効果比較」について営農試験研究を行い、マメシンクイガによる被害率の調査結果について発表しました。



開会の挨拶をする目黒泰行部長

役員コンプライアンス研修会

12月1日、当JA会議室でJA



役員コンプライアンス研修会の様子

沼貝神社奉祝祭に参拝

12月4日、美唄市光珠内町にあ

る沼貝神社で修繕完了奉祝祭が執り行われ、当JAを代表して伊藤藤摩利雄さん、稻作（ゆめぴり）とを目的にマネーロンダリング

か）の部で上島達也さん、麦作（きたほなみ）の部で内田貴大さんが優良生産者として表彰されました。

その後、空知農業改良普及センターの谷村普及指導員による「湛水・乾田直播の栽培」について講演があり、参加した青年部員の皆さんは真剣に聞き入っていました。

（資金洗浄）について取り巻く環境や対策の全体像などを工藤金融課長が説明。①マネーロンダリング対策の必要性②リスク低減に向けた取り組み③2024年3月末までに求められるマネーロンダリング管理態勢の全体像など、ポイントを説明しました。その後、JA北海道信連が作成した動画を聴し、役員の皆さんは熱心に研修を受けていました。



奉祝祭に参加した皆さん

役員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。

12月4日、美唄市光珠内町にある沼貝神社で修繕完了奉祝祭が執り行われ、当JAを代表して伊藤藤摩利雄さん、稻作（ななつぼし）の部で齊藤副部長の皆さんで、審査の結果、稻作（ななつぼし）の部で齊藤摩利雄さん、稻作（ゆめぴり）とを目的にマネーロンダリング

役員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。

経営陣の関与・理解を深めることが目的にマネーロンダリング

ドローンや自動操舵の先進技術を導入し、美唄市の実証事業にも初年度から参加している光珠内町拓北の沼田昌樹さんが参加し、これまでのドローンの利活用策についてディスカッションが行われました。

12月8日、まなみーる（岩見沢市）でスマート農業の情報提供や事例紹介により、スマート農業の普及推進を目的とする「空知スマートアグリシンポジウム2022」が開催され、自治体や農業関係者約150人が参加しました。

はじめにドローン・ジャパンの勝俣喜一朗社長が世界のドローンリモートセンシングを紹介し、次に美唄市農政課から、当地域でも実施する農薬散布ドローンの実証事業について解説しました。

「地域で進めるスマート農業」を行われ、パネリストにはドローンやデジタル農業を行う事業者や

12月8日、まなみーる（岩見沢市）でスマート農業の情報提供や事例紹介により、スマート農業の普及推進を目的とする「空知スマートアグリシンポジウム2022」が開催され、自治体や農業関係者約150人が参加しました。

はじめにドローン・ジャパンの勝俣喜一朗社長が世界のドローンリモートセンシングを紹介し、次に美唄市農政課から、当地域でも実施する農薬散布ドローンの実証事業について解説しました。

「地域で進めるスマート農業」を行われ、パネリストにはドロー

空知スマートアグリ シンポジウム2022開催



修繕完了後の社殿

講師に空知農業改良普及センターの村主査、谷村普及指導員、高

12月13日、JA大会議室で当JA営農販売課が次年度の安定生産と品質向上に向けて、米・麦・大豆栽培講習会を開き、15人の生産者が参加しました。

米・麦・大豆栽培講習会 管理のポイントを学ぶ



パネルディスカッションの様子



栽培講習会の様子

生産者7人が登壇。美唄市からは、ドローンや自動操舵の先進技術を導入し、美唄市の実証事業にも初年度から参加している光珠内町拓北の沼田昌樹さんが参加し、これまでのドローンの利活用策についてディスカッションが行われました。

12月8日、まなみーる（岩見沢市）でスマート農業の情報提供や事例紹介により、スマート農業の普及推進を目的とする「空知スマートアグリシンポジウム2022」が開催され、自治体や農業関係者約150人が参加しました。

はじめにドローン・ジャパンの勝俣喜一朗社長が世界のドローンリモートセンシングを紹介し、次に美唄市農政課から、当地域でも実施する農薬散布ドローンの実証事業について解説しました。

「地域で進めるスマート農業」を行われ、パネリストにはドローンやデジタル農業を行う事業者や

橋専門普及指導員を招き、今年の気候の傾向とそれに伴う作物の傾向について、それぞれの部門ごとに振り返り、次年度に向けた技術対策について説明しました。

水稻（移植）部門では、村主査が幼穂形成期以降の気温が平年よりも高く推移したため、草丈・かん長が平年よりも長く、倒伏が散見されたと振り返りました。また、肥料の価格高騰を受け、「無駄のない施肥を行うため、土壤診断を実施し、施肥量を調整してコスト低減に努めましょう」と呼びかけました。

交通事故発生時の連絡先のお知らせ

冬は交通事故が増加する傾向にあります。
JA共済ご契約車の事故時の連絡先をお知らせいたします。

曜日・時間帯	連絡先
月曜～金曜のJA営業時間内	J.Aみねのぶ金融課 0126-67-2113
上記以外及び土曜・日曜・祝日 (24時間365日受付)	J.A共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931 【連絡事項】 ・加入JA名 ・契約者氏名 ・運転者名 ・契約番号 ・事故車のナンバー ・事故の日時と場所 ・事故発生状況 ・相手方の住所氏名 ・損害の程度など

※J.A共済事故受付センターは携帯電話からもご利用いただけます。

※救急119、警察110のご連絡もお忘れなく。（J.Aみねのぶ 金融課）

JA一部業務の臨時休業のお知らせ

日頃から当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。

年度末決算棚卸のため下記の通り一部の業務を終日臨時休業いたします。ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、下記以外の業務は通常通り営業いたしますのでご利用をお待ちしています。

記

臨時休業する日 令和5年1月31日(火)
臨時休業の業務
・営農資材店舗
・利用精米所

(J.Aみねのぶ 総務課)



オンライン調理体験の様子

**J Aみねのぶ×コープさつぼろ
×N P O 法人E f yによる
オンライン調理体験**

12月11日、コープさつぼろ組合員の親子を対象に、N P O 法人E f y考案のレシピによるオンライン調理体験を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での調理体験が自粛される中、令和4年度に田植え・稲刈りを実施したお米を参加者の方には是非味わってほしいと企画されたもので、各参加者とJ Aみねのぶ、コープさつぼろ組合員活動委員会、N P O 法人E f yの皆さんをZ o o mで繋ぎ、E f yの皆さんによる調理方法の説明のもと、当管内のお米やキヤベツ、

玉葱を使用した「野菜たっぷり！ちゃんちゃん焼き丼」を各自で調理しました。調理後には試食を行い、「野菜がたくさんでも美味しい」といった多くの声が聞かれました。

また、調理の前後ではお米や野菜に関するクイズも出題され、参加者から好評の声が上りました。

善種金の推譲受ける

前代表理事組合長の森川和徳さんから、経営移譲に伴い、長年にわたり組合にお世話になつたとして善種金の推譲を受けました。

第11回（12月定例）理事会の開催について

12月23日開催の理事会において次の事項が決定されました。

◇決議事項◇

1. 決算実地棚卸の実施について
2. 理事に対する令和5年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について
3. 処分未済持分の消去処理について

4. 諸規程の一部変更について

農協職員資格認定試験

（中級・上級）に合格

J A北海道中央会が令和4年度

岩間 清暢さん

今野 昭男さん

（88歳）11月28日

美唄市峰延町峰樺2区

新田真代（総務課）

おくやみ申し上げます

厚生労働省が第54回社会保険労務士試験の合格者を発表しました。

合格率は5・3%でした。当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。

社会保険労務士試験に合格

J Aにお越しの際は制服にも注目してみてください。装いも新たに皆様のご来店をお待ちしています。

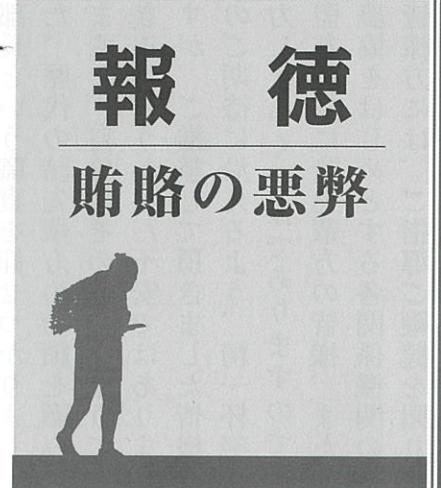
制服をリニューアルしました。新制服は、リボンを取り入れ、ブラックにグレーとホワイトが差し込まれたチェック柄で、落ち着いたデザインとなっています。

**女性職員の制服を
リニューアルしました！**

当JAでは、1月より女性職員の制服をリニューアルしました。

尊徳翁は次のように話された。
大昔の人々の間では、意思を通じさせ、お互いの信頼関係を保つために、心を尽くし、労をいとわないで、体を十分に動かして行動した。それは、まだ貨幣経済の世の中ではなかつたからだ。後に、貨幣経済の世になつて、人の間の交際における多くの分野に貨幣が使われるようになると、保管や運搬、やり取りなどが大変便利になつた。しかし、やり取りが簡単なことから、世の中に賄賂といふものが出てきた。何々の御札をする、お互いの親しさを深める等との言い訳をしながら、賄賂のやり取りをするようになつていく。賄賂が横行するようになると、世の中の善悪がはつきりしなくなり、規律も亂れ、人々の間の礼儀や信頼関係

さえ希薄になつてくる。すべてのことが、賄賂を伴わなければ、行えなくなる世の中になつてしまふ。



私が初めて任務地の桜町陣屋に赴任した時も、よこしまな意思を持った人々が、競つて賄賂を贈つてきたが、一切受け取らなかつた。賄賂を否定することによつて、やがて、善惡、正邪の区別をはつきりさせることができ、信義に厚く、誠実な人が表面に出てこられるようになつた。

今の世の中で、最も恐れるべきは、この「賄賂」である。君たちは、この賄賂に侵される事のないよう、しつかりとした見識を持つよう」と、尊徳翁は、門下生の我々を諭された。

(夜八四)



冬道の交通事故防止

(1)余裕を持った運転を

冬道は天候状況や積雪による渋滞が発生するなど到着するまでに時間がかかります。目的地までの天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。

(2)スピードダウンと慎重な運転を

冬道では、スリップによる正面衝突の交通死亡事故が多発しています。スピードダウンと路面状況にあわせた慎重な運転を心がけましょう。

(3)「急」のつく運転操作は危険

急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップにつながらり大変危険ですのでやめましょう。

(4)交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断しているかもしれない」と危険を予測して、徐行と安全確認を徹底しましょう。

(5)悪天候に注意

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、防寒具やスコップ等を準備しましょう。

特殊詐欺に注意!

被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪を特殊詐欺といいます。

オレオレ詐欺以外にも巧妙な手口が多様に存在しますので、手口の特徴をしっかり把握しておきましょう。

◇架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る手口です。

「コンビニで電子マネーカードを買って、カード番号を教えて」は詐欺です。

◇還付金詐欺

税金還付等に必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る手口です。

「還付金がある」「ATMで手続きができる」は詐欺です。

◇キャッシュカード詐欺

最近非常に被害が増加している詐欺で、警察官などと偽って電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」などとして、嘘の手続きを説明した上で、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る手口です。

「口座が悪用されている」「キャッシュカードを確認しに行く」は詐欺です。

青年部だより

With JA YOUTH
Smile

Vol. 6

新年のご挨拶
青年部 部長 星野功平



ますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

令和5年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。平素より青年部活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

過日、JAみねのぶ青年部第75回通常総会に於きまして、青年部部長という職責を仰せつかりました。歴代の諸先輩方の功績を顧みますと、自分にその重責を全うできるかどうか甚だ不安ではあります。が、ご推挙して頂きました皆様のご期待に沿えるよう、精一杯努力していく所存でありますので、

盟友並びに諸先輩方の皆様、また農協をはじめとする各関係機関の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りました。

大豆につきましては、早播きしました大豆の着莢数は多かつたものの、9月上旬の高温推移により急激に乾燥が進み、やや小粒傾向で小ジワが目立つ状況でしたが、収量・品質を見ますと概ね平年以上とな

ます。農政においては、依然コロナ禍の影響により米価が大きく低下している中、昨年は、若干米価は回復ましたが、ロシア・ウクライナ情勢の影響により肥料や原油、飼料、農業資材等の物価の高騰が止まらず、農業従事者に更なる追い打ちとなり、非常に厳しい状況となっています。我々青年部は地域社会の担い手として、この農業情勢に負けず活動していきたいと思います。

他にも悪化する環境問題に対して、我々青年部は使用済み農業資材の焼却や野積み、不法投棄を無くしていくために、農業用廃プラスチック回収の実施、農薬の使用回数を減らした「香りの畦みちハーブ米」を代表とするイエス・クリーンブランドの推進に積極的に取り組んで参りたいと思います。特に、廃プラスチックの回収につきましては、組合員様のご理解、ご協力により定着化し、分別等を徹底して頂いておりますことを心より感謝申し上げます。

ご理解、応援を頂いております農協をはじめとする関係機関の皆様にはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。とても良い経験をさせて頂き、今後の青年部活動に活かしていきたいと思います。最後になりますが、今後とも皆様におかれましては、青年部活動に対し、さらなるご理解、ご協力を重ねて申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

新役員のご紹介



新役員の皆さん

部長	星野功平
副部長(会計)	橋本吉村
副部長(組織)	川端康太
監理事	星野功平
副部長(営農)	岸内高田
監事	久田貴也
監事	太田靖也
監事	大庭惇平